

## ◇ 令和4年度 指定管理者事業評価書

施設名	老上まちづくりセンター		指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針	
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	17,741,320円		17,116,715円	消耗品費がSSD取付の為、膨らんだ以外は、ほぼ予算内で収まった。修繕費は、追加措置頂いた。	地域のまちづくり推進に関わる場、および学びの場とすべく施設の運用に努める
施設HPアドレス	<a href="http://www.machikyoku.jp/oikami/">http://www.machikyoku.jp/oikami/</a>		2年目	17,739,000円		17,125,173円	センター閉館の影響もあり、賃借料・使用料ならびに消耗品費が減少した。	地域のまちづくり推進に関わる場、および学びの場とすべく施設の運用に努める
指定管理者名	老上学区まちづくり協議会		3年目	18,244,886円		16,785,750円	年度当初、職員体制が十分確保できなかったため、人件費で大幅な差が出た。夜の貸館が増えたため、シルバーへの委託料が増えた。	地域のまちづくり推進に関わる場、および学びの場とすべく施設の運用に努める
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成29年4月1日
指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

### ◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	●市(施設所管課)の総合評価…
<p><b>年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)</b></p> <p>今年度は大幅な人員入れ替わりによるスタートとなったが、利用者の方にご不便をおかけしないようセンターを運用していきたい。</p>	<p><b>事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)</b></p> <p>地域の特色に合わせ事業展開を行うことで地域住民の交流の拠点として適正な管理運営に努められた。また、自主教室の代表者が集まる運営委員会が出た意見を汲み取ったり、町内会長の負担を減らすために配布物の軽減を図る一方でホームページやライン等で積極的に情報発信したり、利用者サービスの向上のため創意工夫されとともに、将来のまちづくりの担い手育成にも目を向け、若い世代向けの講座等を積極的に展開された。引き続き住民主体の多様な施設活用に努められたい。</p>
<p><b>事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)</b></p> <p>センター利用者アンケートの自由記載をみると、センター老朽化に伴う意見が散見されるものの、センターのサービス・運用については概ね好評価を頂いており、当初の目標は達成できたものと感じている。</p>	<p>(応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等))</p> <p>地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が知見と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外にはなく、非公募による選定とした。</p> <p>(利用者数の状況等)</p> <p>地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないことから、使用料金制としておりますが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけるよう努めていただいた。</p>

☆☆☆☆

<b>◇施設に係る主な指定管理業務</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること。</li> <li>・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。</li> </ul>	

<b>◆評価基準</b>	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

<b>貸館等に関する業務（仕様書P3,4）</b>				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	貸館の基準については、疑義ある際は都度 市に確認するなど平等な使用の確保に留意した。また、使用許可申請の受付、使用料の減免措置等は適切に行うことができた。	上半期評価	仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適正に実施された。また、新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き検温・消毒等を徹底された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	貸館の基準については、疑義ある際は都度 市に確認するなど平等な使用の確保に留意した。また、使用許可申請の受付、使用料の減免措置等は適切に行うことができた。利用者アンケートによる職員の対応については、「満足」「ほぼ満足」を合わせると、98%となり、窓口対応も適切に実施できていたものと感じている。	下半期評価	上半期に引き続き、仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適正に実施された。また、新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き検温・消毒等を徹底された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

<b>施設および備品の維持管理等（仕様書P4～7）</b>				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	施設及び備品の維持管理についても、日常管理を徹底するなどして適切に管理することができた。清掃業務については、一部利用者から指摘を受けることもあったが、シルバーさんとも情報を共有することで以降適切に対処することができた。	上半期評価	仕様書等に定める基準を遵守しながら、ひさしに亀裂があり落下する可能性があったことから、ネットを張るなど事故なく安全な施設管理に努められた。管理運営全般のマニュアルを作成することにより、事務の引継ぎがスムーズに行えるように努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	仕様書に定める点検回数を遵守するとともに、必要に応じて機器の交換、整備を行うことで安全な施設管理に努めることができた。また、夜間利用者の安全を図るために、老朽化していた駐輪場の照明の交換も実施した。	下半期評価	老朽化した駐輪場の照明の交換のほか、雨の日は館内の雨漏れ点検をする等、上半期に引き続き、事故なく安全な施設管理に努められた。また、始業時のチェック表を作成することで事務の共有が図られている。他の業務についてもマニュアルの作成に努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

<b>センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務（仕様書P7～9）</b>				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	今年度、職員の大半が交代したこともあり、「学びに関する事業」の実施数が昨年に比べ減少となった。ただ上半期の後半は、コロナ感染を懸念し活動を自粛する利用者も通常に戻りつつあったことも手伝い、徐々に実施する事業数を増加させた。	上半期評価	仕様書等に定められた基準を遵守し、地域のニーズを把握しながら質を高められるよう検討しながらも様々な講座等を展開された。また、LINEの活用やホームページも頻りに更新され、積極的な情報発信に努められている。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	センターからの情報発信について、アンケート結果をみると、LINE、HPの認知度に今後更なる改善の予知があることが認識できた。また、利用者が望む情報についても、今後とも利用者有用な情報とは何かを問いながら発信していきたい。	下半期評価	上半期に引き続き、仕様書等に定められた基準を遵守し、幅広い世代で構成される地域のニーズを把握しながら質を高められるよう検討しながらも様々な講座等を展開された。また、町内会長の負担軽減を図るため紙媒体の配布物を抑えながらも、LINEの活用やホームページも頻りに更新され、積極的な情報発信に努められている。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

<b>経営管理に関する業務（仕様書P9,10）</b>				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	職員の時間外勤務については、これまであいまいであったものをより明確化し、法に沿った対応とすることとした。また、月1回、センター職員の会議を設定し、職員相互の意思疎通を図っている。	上半期評価	仕様書等に定められた基準を遵守し、職員の配置など適正な経営管理などに努められており、下半期も引き続き努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	2月に実施したアンケート結果をみると、「センター清掃」「職員の対応」については、「満足」「ほぼ満足」が90%以上という結果となったものの、センター設備については建物・設備老朽化に伴う意見が寄せられた。センター建て替えの時期も見据え、次年度以降の課題としたい。	下半期評価	上半期に引き続き、仕様書等に定められた基準を遵守し、職員の配置など適正な経営管理などに努められた。会議資料を印刷せず、会議机にディスプレイを活用するなど、経費節減にも努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	